

中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は、運営する保育園やグループ企業を有効活用し、多様な働き方を提供していることが評価され、10月1日に三重県の「働き方改革推進企業」として最高ランクの三つ星に認定された。中小物流事業者では初めてとなる。

働き方改革を推進している企業を県が認定・登録する制度で、物流事業者も既に数社が取得しているが、三つ星は中田商事と物流大手の2社のみ。認定には時間管理の徹底、女性社員の活躍と登用、従業員の意見を吸い上げ反映させる仕組み

中田商事

働き方改革推進で三つ星

県が認定・登録 中小物流では初



働き方改革推進企業の登録証を持つ藤森情報管理室長

みづくりなど、様々なハードルが設けられている。各種認証の申請を担当する情報管理室の藤森純子室長は「ドライバーのグループミーティング、リーダー会議、社長と管理者の会議の順に、下からの声を吸い上げて改善策を考える流れになっているが、課題をその

まま放置せず共有できてい。管理職の女性比率50%も高く評価していただいた」と明かす。女性が働きやすい職場環境づくりで役立っているのが、物流以外の分野も含めたフレキシブルな働き方の提供だ。中田商事は企業主

Sサービス（中田一平社長、同市）もある。同社ではメーカーの工場やスーパーマーケットなど地元の様々な企業に労働力を提供している。

中田純一社長は「スーパーのレジ打ちが勤務上限6時間、もう2時間働きたい人には、中田商事のフォークリフト作業や保育園の補助業務をせよ。スタジアムの建屋にある学童保育所でもいい。我が社の従業員だけでなくグループ全体で考え、ライフスタイルに合った柔軟な働き方を提供している」と強調。取得率が100%の産休や育休に加え、未就学児の看病や検診の際に取得できる「看護休暇」も制度化し、男性社員も取れるようにしている。これらの休暇分はNSサービスの人材がカバーするので、業務に支障が出ることはなく、状況に応じた労働力の最適化が図られている。

中途入社15年目で、現在は管理職として活躍する藤森氏は「男性、女性と分けて考えたことはないが、とても居心地がいい会社だと思う。国土交通省の働きやすい職場認証（運転者職場環境良好度認証）でも、最高の三つ星を目指したい」と力を込める。